

第39回 日本看護科学学会学術集会

ひとと人間の科学を看護へ ～時空を超える我々を知り、看護学を別次元へ発展させよう～

2019 11/30土>12/1日 学術集会長：石垣 和子(石川県立看護大学)

日本看護科学学会・文化看護学会 合同シンポジウムII

「時空を超える家族文化と看護」

“当たり前”とされてきた男女の存在の多様化や家族機能の弱体化などの現状を知りましょう。さらに家族社会学に蓄積された時間を越える家族の知見やグローバルに広がる世界の家族の様相なども学びましょう。自分の“当たり前”を再考し、新しい家族像に向き合える看護職の方向性を一緒に考えていきませんか？

2019年11月30日(土) 15:10～16:40

石川県立音楽堂(第1会場 コンサートホール)

講師



LGBTから家族への問いかけ

三部 倫子 (石川県立看護大学 社会学)

LGBTに関する新進気鋭の研究者が問題提起

シンポジスト

家族の歴史とケアの倫理

牟田 和恵 (大阪大学大学院 歴史社会学、ジェンダー論)

家族の歴史からジェンダーステレオタイプに切り込む



グローバルにみた家族文化の多様性

法橋 尚宏 (神戸大学大学院 / 文化看護学会 理事)

家族の多様性をグローバルな視点から問う



在宅看護実践における家族という存在

岩本 大希 (WYL株式会社/ウィル訪問看護ステーション江戸川)

在宅看護の実践から「家族の存在の意味」を問う



座長

正木 治恵 (千葉大学大学院/文化看護学会 理事長)

川島 和代 (石川県立看護大学)